

## 「53期生を迎えて・・・」



53期生の同窓会入会を心から歓迎いたします。53期生卒業の後、母校南高は4月7日に56期生となる新入生318名が入学してまいりました。

南高の人事異動は、手老校長が金沢高校へ、緑川副校長が戸塚高校へ転出されました。手老校長先生はわずか1年での転出で寂しい限りです。また緑川先生には同窓会が長い間お世話になり感謝いたします。

手老先生の後任の新校長には近藤昭一先生、緑川先生の後任の新副校長には金子一雄先生が着任されました。金井副校長は在任されておりますので、この3人の先生には今後も引き続き同

## 同窓会長 小後摩 基（5期）

窓会がお世話になります。

母校南高も近々正教科に地域社会に根ざした「ボランティア活動」が組み入れられると伺っております。高齢化、少子化が進む社会では地域、近隣が助け合いの気持ちを持つことが重要です。また中学、高校の教育制度も変革の時期に来ていと噂されております。同窓会も母校に協力しながら、この変革に対応し応援して行きましょう。

さて53期生をお迎えしましたが、近年個人情報の観点から、全ての卒業生が全員同窓会に入会しないという状況になったことは、非常に残念なことと思います。53期生の諸君は同期生全員が同窓会会員になれるよう、友人をお誘いいただきたくお願い致します。

# 同窓会報

発行：2009年5月17日  
横浜市立南高等学校同窓会  
事務局：電話 045-712-1040  
FAX 045-743-4475  
URL <http://nanko-ob.com>

## 偏りのない全人教育を目指す南高

同窓会様におかれましては、日頃より南高等学校の生徒並びに学校運営に対して、絶大なご支援をいただき心から感謝申し上げます。伝統薫る憧れの南高に着任できたことを誇りに思い、高等学校教育に力を尽くす所存ですので、よろしくお願い致します。

南高の伝統は、高い学力、活発な部活動、学校行事や生徒会活動等の特別活動という、いわゆる三側面からなる全人教育にあります。正しい身体と心、知恵と知力、対人交渉力やリーダーシップなどからなる偏りのない人間力を育み、国家社会の構成者として、人々の福祉と公共を支えていく人間の育成に取り組んで56年目を迎えています。2万人を超える同窓生の方々の活躍と母校南高への愛情の強さは、こうした南高教育の成果を実証しています。

## 新校長 近藤 昭一



私は、この三側面からなる全人教育を更に推し進め、生徒のキャリア形成を十分にサポートして、巣立つ生徒たちの進路を切り拓き、進路実績を積み重ねて存在感のある普通科単位制高校の地位をより確かなものにしていきたいと考えています。

南高の教育は教職員だけでなく保護者、地域、後援会、そして同窓会という学校関係者の強いパートナーシップによって支えられて来ています。今後とも、同窓会の皆様方の南高教育への積極的な参画と御協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

## 平成20年度教職員異動

### 離任者教職員

職種・教科	氏名	移動先
学校長	手老貞行	金沢高校
副校長	緑川あつ子	戸塚高校定時制
国語	天野利紀	みなと総合高校
国語	光岡宣良	サイエンスフロンティア高校
地・公	宇田 博	退職 みなと総合高校
地・公	八木静子	退職
数学	梅田直樹	退職 愛知県立
数学	立野睦治	金沢高校
理科	菅 礼子	横浜総合高校
理科	砂田保治	東高校
保体	谷田香織	戸塚高校
音楽	床井功子	サイエンスフロンティア高校
美術	原田美穂子	横浜総合高校
英語	岸川由美子	戸塚高校
英語	合田和子	金沢高校
家庭	吉村晶子	みなと総合高校
養護	岸本啓子	サイエンスフロンティア高校
英語	内田洋子	山手学院
美術	木村有貴子	退職
家庭	小原佳子	退職

### 着任者教職員

職種・教科	氏名	前勤務先
学校長	近藤昭一	教育センター所長
副校長	金子一雄	谷本中学
国語	野口真昭	金沢高校
国語	元島 肇	東高校
地・公	菊池直哉	戸塚高校
地・公	北田嘉代子	金沢高校
数学	高岡誠司	横浜商業高校
数学	田島貴之	新任
理科	遠藤摩樹	金沢高校
理科	武井英樹	横浜総合高校
保体	大原尚樹	戸塚高校
保体	速水淳一	臨任
音楽	眞船妙子	横浜総合高校
美術	伊藤 実	みなと総合高校
英語	大山若菜	六ッ川中学
英語	米谷千春	金沢高校
英語	尾藤とよ子	臨任
家庭	金子久美子	横浜商業高校
養護	高松美香	横浜商業高校

## 現在の南高校 田辺 博先生

平成21年4月に56期生(318名)が入学となりました。4月現在、各年次8クラス953名の生徒が在籍しています。現在、学区は横浜市全域となり従前の学区外の地域からの生徒も多く在籍しています。

南高は「自主自立の精神を培い、調和のとれた人間の育成を図る」ことを学校目標とし、「日々の学習」「部活動」、「生徒会活動、学校行事」を3つの大きな柱としています。

学習面では、単位制でありながら1年次では、基礎学力の充実を目指し、必修科目のほとんどをこの年次で学習します。2年次では、おおまかな文理系に分かれた系列選択科目と個々の目的・興味・関心に応じた総合選択科目が取り入れられ、将来を見据えた学習をします。3年次では、個々の目的や進路希望に沿った系列選択科目・総合選択科目を学習し、進路の実現を目指しています。その他2・3年次には将来、教員を目指す生徒に対応した「教育基礎」が設定されています。また、長期休業中には、1・2年次は基礎学力、3年次は受験力の向上を目指す補習が希望者に行われ

## (同窓会担当教員)

部活動では、生徒の加入率も高く、人工芝の野球場、夜間照明のあるテニスコート、弓道場など恵まれた環境のもと、多くの生徒が盛んに活動しています。最近では、弓道部・陸上部・水泳部が関東大会や全国大会に出場し、他の多くの部が県の上位に進出しています。

毎年、みなとみらいホールで行われる合唱コンクールでは、多くの保護者も来場して、完成度の高い合唱を鑑賞されています。南高祭では、2年次生全員による「風の章」と呼ばれる創作劇は高い評価を受けています。そして、南高の特色のひとつであるのが北海道修学旅行ファームステイです。2泊を酪農農家でホームステイし酪農体験をします。大自然の中、生徒は横浜では得られない貴重な体験をしています。

南高には、さまざまな施設とのびのびとした校風があります。その中で、自分の個性を伸ばせるように、自分の可能性を高めていけるように生徒には様々なところでチャレンジしてほしいと願っています。

南高同窓会 Web Pageのご案内  
<http://nanko-ob.com>

◆活躍する同窓生

**特別養護老人ホーム白朋苑** 施設長 島村和子(11期)

少子化で県立高校の統廃合が進められている時代に、母校が存在することに感慨を覚えずにはられません。上大岡駅からバスが開通し始めた頃が、私の南高校時代。よくあの坂道を毎日毎日徒歩で通ったものです。その上大岡駅から徒歩5分。最戸橋の丘の上にあります「特別養護老人ホーム白朋苑」が私の職場です。開設は平成5年5月で、かれこれ16年。当時は措置時代。区役所から紹介された方を受け入れるだけでした。平成12年介護保険制度がスタート。措置から契約へ。突然経営力を必要とする時代がきました。時代の要請に応えること。地域のニーズに応えること。そしてお客様の満足を得ること。サービス業と名の付く限り常にセンシティブでありたい。「今何ができるか」を常に考え続けていきたいのです。

年齢的に親の介護が必要な状況になりました。利用者として間接的にお会いできる同窓生もあります。神奈川県や横浜市に

もそして地域にも、同窓生が立場こそ違え、力を貸してくださり、支援して下さる機会を得てきました。感謝のつながりです。

今、介護施設の現場は、人材不足と利用者の重度化。そして認知症ケア。身体介護から精神的心理的サポートへと拡大。これからの課題です。めまぐるしく変わる制度改革に振り回されることにほとんどあきれながら、意地でも喰らいついていたと思う私も健在です。

自分自身が入所したときに、「こんなはずではなかった!」と叫ばぬように、日々創造の眼を持ち合わせていきたいと考えます。



◆10期同期会レポート

**42年ぶり初めての同期会!!**

昨年7月19日(土)ロイヤルホールヨコハマにて、卒業して以来42年ぶり、初めての同期会が開催された。参加者168名!南高でも一番多い生徒数であったらと思うられる我が世代、団塊の世代である。会場は興奮と感動の渦が沸きあがっていた。

この同期会の話が持ち上がったのは本当に誰ということもなく、心が通じあうかのようにあちこちから、「同期会やろうよ!」「南高時代懐かしいな。皆どうしているかな!」、この思いが結集し、たちまち12クラスの幹事(にわか)とやらが42年ぶりに集まった。それもまた懐かしい顔であった。まずはクラスの名簿作り、式の内容、そして参加呼びかけの連絡、しかし、何と言っても42年ぶりの事。連絡のつかない仲間、他界されていた仲間も多く、時の流れを感じずにはいられなかった。もちろん恩師もご高齢であったり、他界されたりで、ご出席は越村先生(7組)笠原先生(3組)お二人だけであった。

午後3時大宴会場に続々と懐かしい顔が集まって、一瞬誰だっけと思うこともあったが話をすれば、笑顔を見れば、南高時代の顔を思い出し、あっという間に青春時代に逆戻り。



なかでも、車椅子で奥様を付き添いで出席してくれた我がクラスのA君、「皆に会いたくて来たよ」そう言って参加してくれた。何にもまして嬉しかった再会だった。本当に有難う。

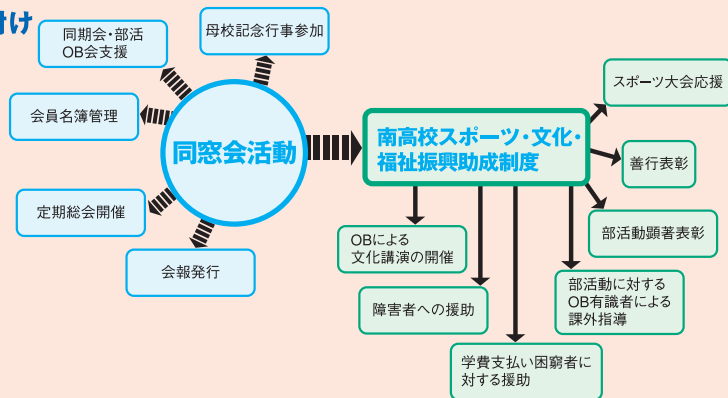
参加者が多すぎて全員の集合写真が撮れなかったので各クラスごとの撮影となった。また南高創設以来の懐かしいビデオや、清水君(11組)が吹き込んでくれた校歌の演奏を皆と大合唱し、甦る思いは青春そのものであった。最後に菊地君(7組)の力強い三三七拍子で10期会をめでお開きとなった。

※南高の同窓会ホームページで10期会の様子がリンクされています。(工藤昌代記)

**(南高振興制度) へのご協力をお願い!!**

◆南高振興制度の位置付け

あなたの心を!  
あなたの手で!  
あなたの力で!  
在校生への支援を!



**2008年度 南高校 同窓会表彰者**

**団体**

弓道部 男子 関東大会出場、全国遠の大会出場  
女子 東日本大会5人制第3位

**個人**

立野勝也(弓道部3年) 神奈川県少年男子団体選手  
関東個人選抜出場  
吉澤美聖(弓道部3年) インターハイ出場  
神奈川県少年女子団体選手、関東個人選抜出場  
坂巻 遙(水泳部1年) 関東大会出場100m平泳ぎ  
JAPAN OPEN 50m平泳ぎ8位

JOC JUNIOR OLYMPIC CUP出場50m・100m平泳ぎ  
高橋明日香(陸上部2年) 関東選手権100m3位  
関東選手権出場 走り幅跳び  
日本ユース出場100m・200m県選手権 走り幅跳び3位  
久保寺史織(シンクロナイズドスイミング)  
JAPAN OPENコンビネーション8位、チーム出場  
JUNIOR OLYMPICチーム8位、デュエット7位  
ナショナルJUNIOR選考会出場